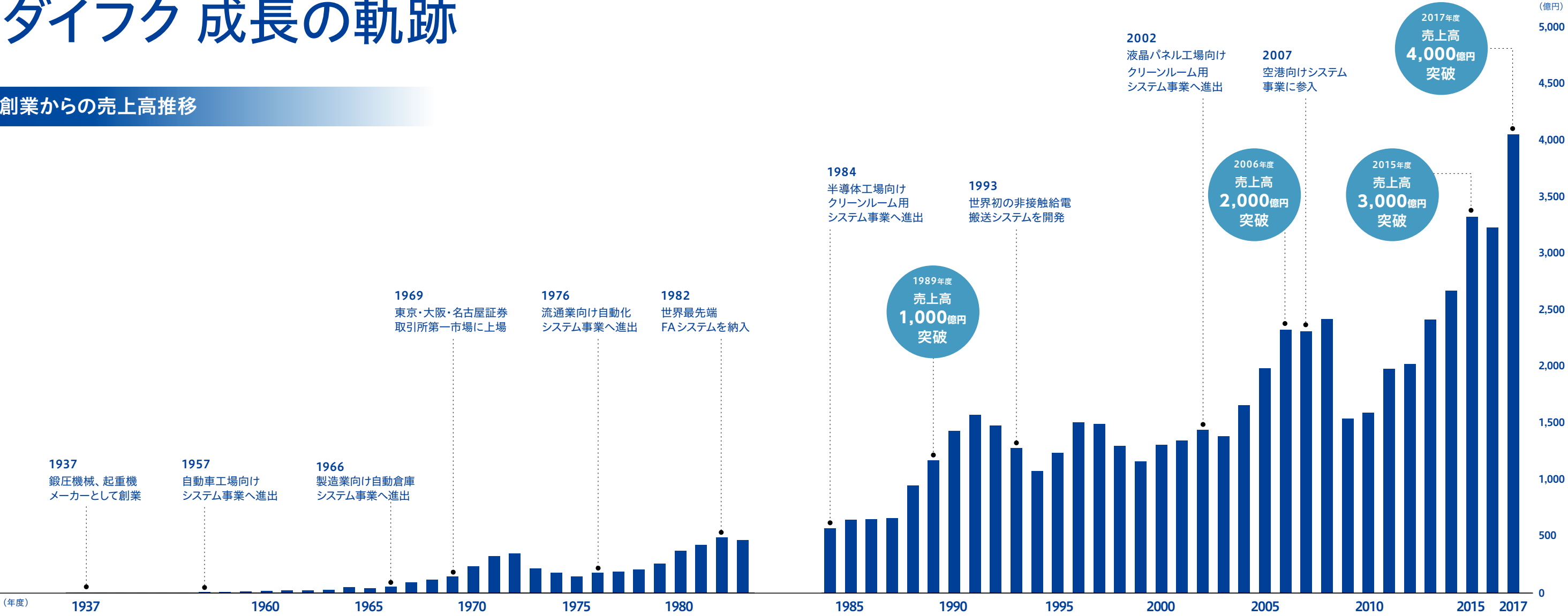


ダイフク 成長の軌跡

創業からの売上高推移



事業	1937 鍛圧機械、起重機メーカーとして創業。 港湾荷役を支える	1966 日本初の高層自動倉庫システムを製造業へ納入	1982 モータ工場に世界最先端FA（ファクトリーオートメーション）システムを納入	1999 免震自動倉庫を納入
	1957 チェンコンベヤシステムを自動車工場へ納入	1975 株式会社コンテック設立	1984 半導体工場向けシステムを開発	2007 M&Aにより空港向けシステム事業へ参入
グローバル	1963 国産初のボウリングマシンを開発。 ボウリングマシン事業へ進出	1976 国産初スチールベルト式の自動仕分け機を流通業へ納入	1993 世界初の非接触給電搬送システムを開発 （詳細はP.22へ）	2014 一時保管・仕分けシステム「SPDR（スパイダー）」を開発
	1977 洗車機事業に参入			
経営基盤	〈海外からの技術導入〉 1952 スイス Bühler Brothers社と技術提携 1957 米国 Jervis B. Webb社との技術提携	1986 「ダイフク・シンガポール」を設立 1989 英国・ロンドンに現地法人「ダイフク・ヨーロッパ」設立 1991 「ダイフク・タイランド」を設立	〈M&Aによる領域拡大〉 2007 米国 Jervis B. Webb社がグループ入り 2009 海外売上高比率50%を達成 2011 英国 Logan Teleflex社がグループ入り 2012 米国 Elite Line Services社がグループ入り	2013 米国 Wynright社がグループ入り 2014 ニュージーランド BCS Group社がグループ入り 2014 マテハン業界売上高で世界No. 1に （2017年まで4年連続を継続中） 2015 北米統括会社（現ダイフク・ノース アメリカ）を設立
	〈日系自動車の海外進出への対応〉 1983 米国・シカゴに海外初の現地法人 「ダイフクU.S.A.」（現ダイフク・アメリカ）を設立	〈食品、薬品、流通など現地需要への対応〉 2002 中国初の現地法人「大福自動化物流設備（上海）」を設立 2005 アジア各地で生産拠点を設立、増強		
経営基盤	1964 「日新（ひにあらた）」を社是に 1969 東京・大阪・名古屋証券取引所第一市場に上場 1984 社名を「大福機工株式会社」から 「株式会社ダイフク」に変更 1994 総合展示場「日に新た館」オープン	2004 企業行動規範を策定 2004 コンプライアンス委員会を設置 2006 滋賀事業所、世界最大級のマテハン生産拠点に 2010 環境経営推進委員会を設置 2010 日に新た館に太陽光発電設備を設置	2011 「ダイフク環境ビジョン2020」を策定 2012 株式会社日本政策投資銀行の環境格付・防災格付 を取得 2012 「ダイフクエコプロダクツ認定制度」の導入・運用を開始 2012 社外取締役を選任	2013 「ダイフク滋賀メガソーラー」が完成 2014 国連グローバル・コンパクトに署名 2016 「ダイフク コーポレートガバナンス・ガイドライン」を制定 2017 働き方改革委員会を設置 2018 年金資産運用委員会を設置